

研究課題名	菌株遺伝子情報、薬剤感受性サーベイランス情報、DPC データを用いた薬剤耐性腸内細菌科細菌が臨床に及ぼす影響に関する研究
研究責任者名	広島大学病院 感染症科 教授 大毛 宏喜
研究期間	2020年3月18日(倫理委員会承認後)～2025年3月31日
対象者	2008年11月から2018年11月の間に、広島大学病院に入院し細菌培養検査を提出された患者のうち、大腸菌及び肺炎桿菌が検出された患者。
意義・目的	薬剤耐性菌がもたらす影響を及ぼすことは明らかになってはいますが、薬剤耐性菌が持つ薬剤耐性遺伝子の種類が予後にどのような影響を及ぼすかは解明されていません。今回、検出された大腸菌及び肺炎桿菌の薬剤耐性遺伝子データと薬剤感受性データ、臨床情報として厚生労働省に提出される治療法、予後等を含んだDPCデータを結合して薬剤耐性遺伝子と治療法、予後にどのような関連があるかを研究します。

薬剤耐性菌がもたらす影響を及ぼすことは明らかになってはいますが、薬剤耐性菌が持つ薬剤耐性遺伝子の種類が予後にどのような影響を及ぼすかは解明されていません。今回、検出された大腸菌及び肺炎桿菌の薬剤耐性遺伝子データと薬剤感受性データ、臨床情報として厚生労働省に提出される治療法、予後等を含んだDPCデータを結合して薬剤耐性遺伝子と治療法、予後にどのような関連があるかを研究します。

方法

本研究は入院の際に作成される厚生労働省へ提出されるDPCデータを調査して行います。また、研究期間中に検出された大腸菌及び肺炎球菌の薬剤感受性と薬剤耐性遺伝子情報は別途個人情報が見えない形で解析されているものを使用します。DPCデータから使用する内容はDPCの様式1に含まれる以下の情報(性別、入院情報(入院年月日、入院経路)、退院情報(退院年月日、退院先、転帰)、診療目的・経過、前回退院、再入院調査、再転棟調査、身長・体重、喫煙指数、褥瘡、認知症高齢者の日常生活自立度判定、主病名、入院契機、医療資源、医療資源

舟入市民病院	(責任者名 田上 芳子)
庄原赤十字病院	(責任者名 辻 隆弘)
尾道市民病院	(責任者名 森 三郎)
福山市民病院	(責任者名 眞鍋 明広)

試料・情報の管理責任者

広島大学病院 感染症科 教授 大毛 宏喜

個人情報保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。ただし、モニタリングのためプライバシーが保護されることを条件に、研究者から業務委託された者が、あなた個人を特定できる形で診療情報を閲覧することがあります。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-1613

広島大学病院 感染症科 教授 大毛 宏喜

研究機関：広島大学